

玉川文化センターの改修急いで

佐々木智子(日本共産党)
 玉川学園文化センターの大規模改修とバリアフリー化を早急に求めるがどうか。
市民部長 施設のバリアフリー化の必要性が増していることなども認識しています。
副市長 ごみ総量を減らすためには事業系持ち込みごみ対策が不可欠と考えるがどうか。
清掃事業部長 三、〇〇〇平方メートル以上の事業所には、廃棄物の減量及び再利用



玉川学園文化センター

公立中学校の適正配置を問う

熊沢あやり(自由民主党)
 平成二〇年二月一日に町田市は市制施行五〇周年を迎えるが、コンセプトは。市制五〇周年が新たな出発点となるよう、伝統と立地条件、都市機能といった町田市の持つ強みをさらに磨き上げるきっかけにしたい。
副市長 ピンクリボン活動をどう考えているか。
岩崎助役 大変意義のある活動で、市としても、年間の

エコセメントの使用の進め方

吉田つとむ(自由民主党)
 町田市が東京都から一名の助役を前回に続いて迎え入れている目的と役割はどこにあるか。
市長 行政運営に当たり広域的に他の自治体と連携を図る必要もあり、さらに都市づくりの事業も大変重要であり、広域行政を担える資質を持った人材が必要だ。そこで、市と密接な関係にある都から助役として迎え入れています。

小規模化した学校に再び対策を

伊藤泰人(民主社・社民ネット)
 大戸小学校・武蔵岡中学校の小規模化解消策について検討しているか。
教育長 小規模校解消の抜本的な検討は、今のところ考えていません。当地区の特色、自然環境等、小規模校のよいところを生かした小中一貫校を研究していきたいと考えています。適正規模の検討会のときも、隣接校に統合した場合には距離の問題があるとい

国保税と高齢者への負担軽減を

高嶋均(日本共産党)
 国民健康保険税の負担を軽減する考えは。
市民部長 現行の応益割の比率をこれ以上引き下げることとは中間所得者層の負担が重くなることにつながり、法の趣旨からも、引き下げは考えられません。
副市長 減税対策として申告拡大の方策は。
税務部長 平成一九年度課税に当たり、一八年度課税さ

石阪市長は市民に対して謝罪を

谷沢和夫(民主社・社民ネット)
 石阪市長は「政治資金規正法違反」で、市民に対してその反省の念をどのようにこれまで態度であらわし、また今後どのようにあらわし続けるのですか。
市長 議会を通じて市民に説明をしたところです。さらに、政治家としての説明の機会には、この後、少し時期は遅くなりますが、機会を持つと準備をしています。

高齢者負担軽減に「ごみ袋配布を

宮坂けい子(公明党)
 社会保障制度改革や税制改正で増加した高齢者の負担を軽減するため、高齢者にごみ袋の無償配布を求める。
市長 有料化後一年が過ぎ、現在、市民意識調査を実施しているところです。さまざまな観点から検討していきたい。
副市長 認定保育所等の認可外保育料の緊急補助制度の来年度予算への反映を強く求める。
岩崎助役 現在、補助制度

行政の大掃除と青少年スポーツ

友井和彦(まちだ新世紀)
 自治体業務の「そもそも必要性」をゼロから問うため、民の目による公開の場での「事業仕分け」を活用すべき。
市長 事務事業カルテの考え方はこれからも継続していきますが、私としては、経営改革のツールとして、経営品質の考え方による改革といふのが、この町田市には最もふさわしいと判断を

市制五〇周年に「日付風景印を

いわせ和子(まちだ新世紀)
 ごみゼロ市民会議の現状と今後の取り組みについて。
市長 今度は第四回目という予定で、出席率の高い会議だと感じています。活発な議論の会議になっており、運営も含め、期待した会議になっていると思います。
副市長 町田市五〇周年記念に、大地沢青少年センター等に郵便日付の風景印を。
市長 市制五〇周年にふさ

南大谷ガードの渋滞解消を

上野孝典(公明党)
 南大谷交差点から成瀬三ツ又までの都市計画道路を早期に完成すべきと考えるが、建設部長 小田急の立体部分には相当の交通渋滞等があり、三・四・三四号線の中でも南大谷の部分については、なるだけ早い時期に着手すべき路線であると認識しています。
副市長 町タリア園は入場者数の減少により厳しい経営となっているが、市としてどの



南大谷ガード付近